

BioJapan2022にて キングスカイフロントの最新情報を発信



川崎市産業振興財団出展ブース

バイオ産業におけるアジア最大のパートナーングイベント BioJapan2022が、2022年10月12日～14日にパシフィコ横浜で開催され、3日間を通して約1.6万人が来場し、国内に留まらず海外からも多くの企業、研究機関が集まりました。

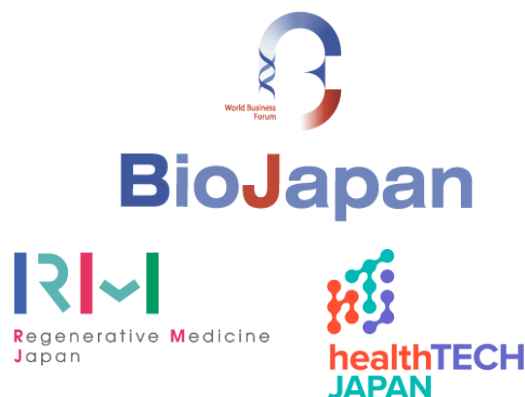
川崎市産業振興財団は、「横浜・川崎パビリオン」に出展し、キングスカイフロントの集積状況やインキュベーション事業の取り組みを紹介しました。同パビリオンには、公益財団法人実験動物中央研究所、エリクサジェン・サイエンティフィック・インク、株式会社天然素材探索研究所、ナノ医療イノベーションセンターなど、キングスカイフロントに入居する複数の機関も参加し、国内外のライフサイエンスクラスターやアカデミアと広く交流を図りました。

また開催初日には、株式会社島津製作所、JSR株式会社とともに、プレゼンテーションエリアでキングスカイフロントの最新情報を発信しました。テーマは、「～川崎の南端は、世界の最先端～ 進化し続けるキングスカイフロントの挑戦」です。



株式会社 島津製作所 分析計測事業部 齋藤洋臣氏

島津製作所分析計測事業部事業企画部の齋藤氏からは、開所を迎えるShimadzu Tokyo Innovation Plazaにて、社会が抱える課題を解決するアプリケーションの開発に取り組



むことや、施設内の研究者交流エリアを活用してネットワークを醸成させていくことなど、キングスカイフロントで目指していくことが語られました。



JSR株式会社 ライフサイエンスコーポレートR&D統括兼 JSR Bioscience and informatics R&D center (JSR BiRD) センター長 橋本秀雄氏

昨年キングスカイフロントに進出したJSR Bioscience and informatics R&D center (JSR BiRD)は、同社の基幹研究所でもあり、ライフサイエンスとインフォマティクスによる新事業創出のための研究拠点です。橋本センター長は、さまざまなバックグラウンドをもった研究者たちが交流しながら研究開発に取り組むことがコンセプトとなっており、スタートアップ企業とのコラボレーションが始まっていることなどが紹介されました。

その他、川崎市産業振興財団からは、キングスカイフロントの集積状況や、今年度開始したインキュベーション事業やシェアオフィスについても触れ、キングスカイフロントの成長に今後も期待していただける内容となりました。

キングスカイフロントでPhRMAのシンポジウムを開催

2022年11月26日、キングスカイフロントで米国研究製薬工業協会(PhRMA)のシンポジウム「PhRMA Translational Research Symposium～神奈川、川崎ではぐくむ日本のシーズと人材～」が開催されました。

同シンポジウムは、産官学の立場で活躍する医薬における研究者が、シーズ発掘・育成などをテーマに、様々な視点からディスカッションすることで、参加者の研究意欲のさらなる向上、ひいては創薬分野で世界的に活躍できる人材を育成することを目的としています。

当日は、エコセル株式会社取締役CTO小島伸彦氏より大学発のベンチャー起業での経験談や、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科教授の島岡未来子先生より起業に必要な新規事業創造の方法や理論などが基調講演として語られ、後半のパネルディスカッションでは、日本の創薬エコシステムの発展に向け、活発な意見交換がなされました。



エコセル株式会社取締役CTO小島伸彦氏

メトセラ

最大10億円のAMED委託事業に採択

株式会社メトセラはAMEDの「医療研究開発革新基盤創成事業のスタートアップ型」に採択されたことを発表しました。

本採択事業では同社が開発を進める再生医療等製品について、国立大学法人岡山大学との連携を進め、小児先天性心疾患である単心室症患者に対する治療法の開発に取り組むものです。メトセラは『心不全治療に、革命を起こす』というミッションの元、心不全を中心とした新しい再生医療等製品を提供することを目指して研究をしています。治療選択肢の限られる患者にとって希望となる治療法の開発に注目が集まっています。 [詳細はこちら](#)

花王

VHH抗体を応用したウイルス研究の成果を発表

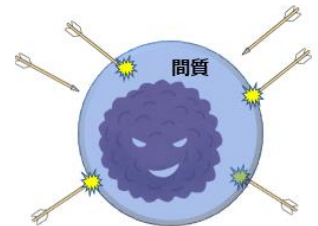
花王株式会社ハウスホールド研究所は、国立研究開発法人理化学研究所脳神経科学研究センター細胞機能探索技術研究チーム、学校法人北里研究所が設置する北里大学大村智記念研究所、株式会社Epsilon Molecular Engineeringと共同で、VHH抗体に蛍光タンパク質を組み合わせた融合タンパク質を用い、繊維に付着した新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を簡便に可視化できる可能性を見いだしました。この成果を応用することで、新型コロナをはじめとする環境中の危険なウイルスの存在場所の詳細がわかるようになるだけでなく、ウイルスを不活化・除去できる製品の開発に役立つことが期待できます。 [詳細はこちら](#)



難治がんのシールドを破壊し、免疫や抗がん剤の攻撃を援護

トリプルネガティブ乳がん(TNBC)などの難治性がんは、間質と呼ばれる線維組織が発達し、まるでエネルギーシールドで覆われたエイリアンの宇宙船のごとく免疫細胞や抗がん剤といった外部からの攻撃を寄せ付けません。がんのシールドとして機能している間質を弱体化させ、免疫療法や化学療法を奏効させる研究が進んでいます。古くからある抗アレルギー薬「トラニラスト」が異常増殖する線維組織を正常化させることに着目し、それをナノマシンに搭載してTNBCモデルマウスに投与しました。

その結果、ミセル化せずにトラニラストを使用した場合と比べ1/100量で間質を弱体化することができ、その結果、抗がん剤との併用により腫瘍の消失と免疫の保持が確認されました。本研究成果は、11/22付 Nature Communications に掲載されています。 [詳細はこちら](#)



COI-NEXT川崎拠点 “CHANGE” 始動!!

「在宅医療では看護師が24時間患者に寄り添うことができない」という訪問看護師の言葉から、誰もが身近な人を看護できるための道具を創り、そのための知識を学ぶ機会を提供する必要性に駆られ、iCONMを中核拠点とする文部科学省/JSTのプロジェクト「COI-NEXT川崎拠点“CHANGE”」が始動しました。看護の実践に携わる方々の声に耳を傾け、理工学の方で課題を解決することにより将来の看護人材を確保し、強靱でしなやかさのある健康長寿社会の確立を目指します。



購読のご案内

キングスカイフロントの最新情報をお届けするi-Newsletterを購読ご希望の方は、こちらよりお申し込みください。年4回の発行で、購読は無料です。

<https://ws.formzu.net/fgen/S11051741/>

発行日：2023年2月

発行元：公益財団法人川崎市産業振興財団
殿町キングスカイフロントクラスター事業部

Mail：info-ksfcl@kawasaki-net.ne.jp

